

立志のつどい（厚陽中学校）

厚陽中学校で中学2年生の節目の儀式「立志のつどい」が、厳粛な雰囲気の中で開催されました。生徒は誓いの漢字1文字を書いた色紙を掲げて、将来の夢や目標などを力強く発表しました。その後「人生をたくましく生きていってくれることを祈っています」という校長先生の式辞を神妙な面持ちで聞いていました。保護者からの手紙を読んでしんみりとする場面もあり、それぞれが大事に育てられ愛されていることを実感した様子でした。最後に、「夢～愛する厚陽～」という演題で記念講演がありました。



地震と火災を想定した避難訓練（高千帆小学校）

高千帆小学校では、本年度2回目の避難訓練が行われました。地震発生の緊急放送を聞いて、机の下に頭と体を入れて机の脚をしっかりと握ってまず身を守り、次に火災が発生したという設定で運動場に避難しました。校区のセーフティネットの会長さんからは、災害はいつどこで起こるか分からないから、だれからも指示がないときでも自分の命を守るための行動を考えておいてとの講評をいただきました。訓練後の振り返りでは、家庭においても最悪の状況を想定して防災について話し合っておくことの必要性を確認しました。



教師力養成体験演習（竜王中学校）

優秀な教員の確保に向けた取組の一つ、「山口県教師力向上プログラム」が竜王中学校で行われました。山口東京理科大学工学部の3年生が、実践的指導力を養成するため学校の教員と一緒に指導しました。生徒がプリントの問題を解く間に机間支援を行い、生徒のつまづきを見つけて助言したり、生徒の質問に答えたりしました。教員からは授業の導入の仕方や教材の価値などを学んだり、生徒からは声掛けの仕方に手ごたえを感じ取ったりして、教員になりたいという思いがより強くなったと話していました。

